

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	233	2年	後期	看護学科	必修	健康教育論 Health Education	30	2
担当教員								
田中 昭子	中越 利佳	光井 綾子						
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
健康教育の理念、基礎となる理論を理解するとともに、ライフサイクルに応じて個人・家族・小集団を対象とする健康教育の実際を学び、人々が自らの意志で健康に生きるための思考や行動を獲得し、習慣化することを支援する方法・技術を身につける。								
到達目標（授業目標）								
<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の理念、基礎となる理論、方法を理解する。 ・保健行動を行う（行わない）対象者の思考や行動の特性を自らの経験を通じて理解する。 ・ライフサイクルに応じた健康教育の実際が説明できる。 								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	<健康教育の理念・目的・方法>担当教員：田中昭子 健康教育の歴史・理念・目的と対象 健康教育の形態と特徴（個別・集団） 健康教育の企画・実施・評価（プロセス評価・影響評価・成果評価）							

2回	<健康教育に役立つ理論>担当教員：田中昭子 ① グループダイナミクス ② K A P モデル ③ 保健信念モデル ④ プリシード・プロシードモデル ⑤ 社会学習理論 ⑥ 変化ステージ理論 ⑦ ナッジ理論
3回	<健康教育の実際 (1) 高齢期の人々>担当教員：田中昭子 健康教育の企画書・指導案・会場設定・媒体の例 (講義)
4回	<健康教育の実際 (1) 高齢期の人々>担当教員：田中昭子 高齢期にある人々を対象とした健康教育の企画書・指導案の作成 (個人ワーク) 小集団を対象にした健康教育
5回	<健康教育の実際 (1) 高齢期の人々>担当教員：田中昭子 各自が作成した健康教育の企画書・指導案・会場設定についてグループ内で発表・意見交換、グループ代表者の選定 (グループワーク)
6回	<健康教育の実際 (1) 高齢期の人々>担当教員：田中昭子 グループ代表者による健康教育の企画書・指導案・会場設定の発表・質疑応答
7回	<健康教育の実際 (2) 成人・働く人々>担当教員：光井綾子 成人期にある人々を対象とした健康教育 (講義)
8回	<健康教育の実際 (2) 成人・働く人々>担当教員：光井綾子 健康教育の企画書、指導案、教材の一部 (パワーポイント) の作成 (グループワーク)
9回	<健康教育の実際 (2) 成人・働く人々>担当教員：光井綾子 発表 (1~6G)
10回	<健康教育の実際 (2) 成人・働く人々>担当教員：光井綾子 発表 (7~12G)
11回	<健康教育の実際 (3) 女性のライフサイクルを通じた健康教育>担当教員：中越利佳 母性看護領域における健康教育の実際 (講義)
12回	<健康教育の実際 (3) 女性のライフサイクルを通じた健康教育>担当教員：中越利佳 健康教育の企画書、指導案の作成 (個人ワーク)
13回	<健康教育の実際 (3) 女性のライフサイクルを通じた健康教育>担当教員：中越利佳 グループにおける個人が立案した企画書、指導案の発表、グループ代表者の決定
14回	<健康教育の実際 (3) 女性のライフサイクルを通じた健康教育>担当教員：中越利佳 グループ代表者の発表・意見交換
15回	<まとめ>総括 担当教員：田中昭子
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
提出物100%。60点以上を合格とする。	
教科書	荒賀直子・後閑容子「公衆衛生看護学.jp第5版 データ更新版」 (インターメディカル)
参考図書等	宮坂忠夫ほか「健康教育論 (最新保健学講座)」 (メヂカルフレンド)
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)	

関連科目										
前科目	210	成人看護対象論	216	老年看護対象論	223	母性看護対象論	231	地域看護学概論		
後科目	215	成人看護学慢性期実	218	老年看護学実習	226	母性看護学実習	236	地域看護学実習	304	公衆衛生看護学実習
実務家教員										
保健師（行政機関）	田中 昭子									
助産師（医療機関）	中越 利佳									
看護師（医療機関）	光井 綾子									
備考										